

## 様式第2 (第12条関係)

## 加入国際学術団体に関する調査票

## 1 国際学術団体活動状況 (内規第11条 活動報告)

団体名	和	国際地図学協会
	英	International Cartographic Association (ICA)
	団体 HP (URL)	http://www.icaci.org (日本学術会議が加盟していることの記載 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 )
国際学術団体における最近のトピックについて (学術の進歩、当該団体の推進体制の変化、国際機関・政府・社会との関わり方等)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・2014年夏に開催された ICSU 総会において、ICA はそれまでのアソシエーツからフルメンバー (現在 31) に昇格した。</li> <li>・2015年から2016年にかけて、国連の支援のもとに国際地図年 (International Map Year (IMY)) を開催している。</li> <li>・2017年に米国ワシントン DC で国際地図学会議を開催予定。</li> </ul>
政策提言や世界の潮流になりそうな研究テーマ・研究方式・研究助成方式等について		<p>防災および災害復旧に対する地図の有効性、地図情報のデジタル化に伴う多方面での活用の広がり、グローバル化に伴う地図メディアを用いた異文化コミュニケーションの活発化、地球環境問題への理解を深める表現モデルとしての地図の有効性、など地図そのものの機能と利用に際しての地図リテラシーの向上について ICA と共同歩調をとる。</p>
日本人役員によるイニシアティブ事項や日本からの参加によって進展や成果があったものについて		<ul style="list-style-type: none"> <li>・2019年の ICA 総会および国際地図学会議を東京に召致する活動を行ってきたが、2015年夏の ICA 総会においてその開催が決定した。</li> <li>・ICA コミッションの活動として、日本が提案したユビキタスマッピングのコミッションが2003年より継続して活動しており、地図の新たな概念形成に寄与している。</li> </ul>
加入していることによる日本学術会議、学会、日本国民への効果やメリットについて		<p>地図は自国部分から地球全体へと展開するが、自国以外の地図情報の構築・取得には国際協力が欠かせない。ICA は地図に関する唯一の包括的な国際機関であり国連とも関係が深く、加盟していることにより地図情報の標準化や先端技術情報など最新の国際的な動向が効果的に把握でき、国内へ迅速に反映させることができる (事例: GPS の普及にともない国際測地系へと移行)。分担金の費用対効果はきわめて高いと認識している。</p>
その他 (若手研究者・女性研究者育成法、科学者の倫理に関する当該国際学術団体の基本方針や憲章、資金提供ソースの発掘における画期的な方策等の特記事項など)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・2年毎に開催される国際地図学会議では、若手研究者の研究発表を奨励するために応募者の中から選考により10名程度に1,000ユーロを限度として奨学金を提供している。</li> <li>・地図の専門家をカートグラファーと呼ぶが、その社会的位置づけを問いかけることを継続的に行っており、女性の割合も比較的高い。</li> <li>・科学者の倫理に関しては ICSU に準じている。</li> </ul>

## 2 今後の予定について (内規第11条 活動報告)

総会、理事会の日本開催の予定について (招致等の予定も含め)	2019年7月に第17回 ICA 総会および第29回国際地図学会議が東京において開催されるが、その前年の2018年に下見を兼ねて東京において理事会が開催される予定。
日本人の役員立候補等の	副会長について立候補を検討中。

## 様式第2 (第12条関係)

予定について	
現在、検討中の日本からの提言や推進するプロジェクト等の動きについて	2019年東京大会の成功のためにあらゆる方策に全力を傾注する。大会のスローガンは Mapping everything for everyone となっている。

## 3 国際学術団体会議開催状況 (内規第11条 活動報告)

総会・理事会・各種委員会等の状況 (過去5年間及び今後予定されているもの)	総会開催状況	(予定) 2019年 (開催地: 東京・日本) 2015年 (開催地: リオデジャネイロ・ブラジル) 2011年 (開催地: パリ・フランス)		
	理事会・役員会等開催状況	2016年 (開催地: マドリード・スペイン) 2015年 (開催地: ウィーン・オーストリア) 2015年 (開催地: ケープタウン・南アフリカ) 2014年 (開催地: オロモウツ・チェコ) 2013年 (開催地: ウーハン・中国) 2012年 (開催地: ドレスデン・ドイツ) 2012年 (開催地: ウィーン・オーストリア)		
	各種委員会開催状況	2016年 地図遺産へのデジタル技術の応用委員会 (リガ・ラトビア) 2015年 総合描写と縮尺変換委員会 (リオデジャネイロ・ブラジル) 2015年 ユビキタス・マッピング-地図とインターネット-理論地図学合同委員会 (東京・日本) 2014年 地図による災害の早期警戒委員会 (イスタンブール・トルコ) 2013年 地図史委員会 (ヘルシンキ・フィンランド) 2012年 国際地図年ワーキング委員会 (コロンバス・米国) 2012年 ユビキタス・マッピング委員会 (東京・日本)		
	研究集会・会議等開催状況	(予定) 2017年国際地図学会議 (ワシントン・米国) 2015年 ICA新執行部・新委員会委員長合同ワークショップ (ウィーン・オーストリア) 2015年 国際地図学会議 (リオデジャネイロ・ブラジル) 2013年 国際地図学会議 (ドレスデン・ドイツ) 2011年 国際地図学会議 (パリ・フランス)		
上記会議等への日本人の参加・出席状況及び予定	2015年国際地図学会議 (リオデジャネイロ・ブラジル)、13人 (うち代表派遣: 森田喬、有川正俊) 2013年国際地図学会議 (ドレスデン・ドイツ)、9人 (うち代表派遣: 森田喬、熊木洋太) 2011年国際地図学会議 (パリ・フランス)、21人 (うち代表派遣: 森田喬、熊木洋太)			
国際学術団体における日本人の役員等への就任状況 (過去5年)	役職名	役職就任期間	氏名	会員、連携会員の別
	ICA表彰委員会委員	2011~2015	森田 喬	(23期)会員・ <del>連携</del>
	ICAユビキタス・マッピング委員会委員長	2011~2015 ~2019	有川正俊	(23期)会員・ <del>連携</del> 特任連携

## 様式第2 (第12条関係)

出版物	1 定期的 (年2回) 主な出版物名 International Journal of Cartography、ICA News 2 不定期 (適宜) 主な出版物 Lecture Notes in Geoinformation and Cartography
活動状況が分かる年次報告等があれば添付又は URL を記載 ( <a href="http://www.icaci.org/ica-news/">http://www. http://icaci.org/ica-news/</a> )	

## 様式第2 (第12条関係)

## 4 国際学術団体に関する基礎的事項 (内規第3条、4条、5条)

国内委員会 (内規4条第3号)	委員会名	ICA 小委員会 (地球惑星科学委員会 IGU 分科会)
	委員長名	森田 喬
	当期の活動状況	<p>第1回：平成26年11月25日 (主な審議事項) 1. ICA 小委員会 役員の選出 2. 2015年 ICA リオ大会代表派遣について 3. 特任 連携会員の推薦について 4. 2019年 ICA 東京大会の招致活動について 5. 次期 (2015-2019年) ICA 副会長立候補について 6. 2015年 ICA リオ大会対応について</p> <p>第2回：平成27年11月9日 (主な審議事項) 1. ICA 総会, ICC リオ大会参加報告 2. ICC2019に向けた体制づくりについて 3. ICA 小委員会の再組織化について 4. 国際地図年 (IMY) の展開について</p> <p>第3回 (予定)：平成28年5月16日 (主な審議事項) 1. ICC2019 組織委員会について 2. ICC2017 ワシントン大会への対応について</p>
内規第3 (国際学術団体の要件関係)	<p>国際学術交流を目的とする非政府的かつ非営利的団体である</p> <p>1. <input checked="" type="radio"/> 該当する 2. <input type="radio"/> 該当しない</p> <p>※根拠となる定款・規程等の添付又は URL を記載 (<a href="http://icaci.org/ica-statutes/">http://icaci.org/ica-statutes/</a>)</p>	
	<p>各国の公的学術機関及び学術研究団体等が国際学術団体に国を代表する資格を有して加入するものが、主たる構成員となっている (主たる構成員が、いわゆる「国家会員」であるか否か)</p> <p>1. <input checked="" type="radio"/> 該当する 2. <input type="radio"/> 該当しない</p> <p>※根拠となる資料の添付又は URL を記載 (<a href="http://icaci.org/membership-types/">http://icaci.org/membership-types/</a>)</p>	
	<p>下記の事項 (ア～エ) のいずれか一つに該当するか (該当するものに○印)</p> <p>ア 個々の学術の専門分野における統一のかつ世界的な組織を有するもの</p> <p>イ 研究の領域が複数の専門分野にわたるものであって、統一のかつ世界的な組織を有するもの</p> <p>ウ 研究の領域が複数の専門分野にわたるものであって、ア又はイの国際学術団体を連合した世界的組織を有するもの</p> <p>エ 構成員のうち、各国代表会員がアジア地域等我が国が関係する地域等に限られるものであって、当該国際学術団体の研究の領域が複数の専門分野にわたるもの</p>	
	<p>10カ国を超える各国代表会員が加入している</p> <p>1. <input checked="" type="radio"/> 該当する 2. <input type="radio"/> 該当しない</p>	
	加入国数及び 主要な各国代表 会員を 10記載	<p>(71ヶ国)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• U.S. National Committee for ICA / 米国</li> <li>• Canadian Institute of Geomatics / カナダ</li> <li>• British Cartographic Society / 英国</li> </ul>

## 様式第2 (第12条関係)

	<ul style="list-style-type: none"><li>• Comité Français de Cartographie / フランス</li><li>• Deutsche Gesellschaft für Kartographie / ドイツ</li><li>• Geo-Informatie Nederland / オランダ</li><li>• Sociedad Española de Cartografía, Fotogrametría y Teledetección / スペイン</li><li>• Associazione Italiana di Cartografia / イタリア</li><li>• Federal Service for State Registration, Cadastre and Cartography / ロシア</li><li>• Chinese Society of Geodesy, Photogrammetry and Cartography / 中国</li></ul>
--	---